

平成 27 年度第 1 回 大船渡市復興計画推進委員会 議事録

日 時：平成 27 年 6 月 1 日（月） 14：00～

場 所：シーパル大船渡

次第	発言者	内 容
1 開会挨拶	事務局	<p>お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。</p> <p>平成 27 年度第 1 回大船渡市復興計画推進委員会を開催いたします。</p>
2 委嘱状交付	事務局	<p>新任委員のお二人に委嘱状を交付させていただきます。</p> <p>新任のお二人は大船渡市市民活動支援センター事務局長の下津浦朱里様、末崎地区まちづくり推進委員の新沼眞作様になります。</p>
	市長	(委嘱状交付)
	事務局	<p>オブザーバーとして国土交通省都市局市街地整備課杉田牧子課長補佐、同じく東北地方整備局企画部野呂吉信震災対策調整官に参加いただいています。</p> <p>澤田委員、金野委員、大和田委員の 3 名が都合により欠席しています。</p>
3 あいさつ	市長	<p>大変ご苦勞様でございます。遠方からお出でいただきました塩崎様をはじめ、各界でご活躍の皆様におかれましてはご多用の所ありがとうございます。</p> <p>また、平素より震災からの復旧復興はもとより、市政各般にわたり、特段のご指導ご協力を賜っております。改めまして、敬意を表し感謝を申し上げます。</p> <p>ただいまお二人を委嘱させていただきましたが、いずれも、ご多忙の中、快くお引き受けいただきことに、改めまして厚く御礼申し上げます。</p> <p>東日本大震災から 4 年 3 カ月が過ぎようとしており、復興計画は中期の 2 年目に差し掛かっております。多くが進捗し、市内各地で具現化しているところであります。</p> <p>これまで最大の課題である、住宅の再建に関わる防災集団移転促進事業は全地区工事発注に至りました。災害公営住宅整備事業も 2 団地を除きまして、概ね今年度中に完成する見込みでございます。</p> <p>また、復興の進捗に伴う新たな課題にも迅速に対応すべく現在、全力で取り組んでいるところであります。</p> <p>現在、国からは平成 28 年度以降の復興事業費を巡り、被災自治体の財政負担を一部に求める考え方が示されるなど、今後の復興の進捗に影響を与えかねない状況でございます。委員の皆様にはこのような状況を賢察の上、当市の早期復興に向け貴重なご意見・ご提言を賜りますようお願い申し上げます。</p>

	塩崎委員長	<p>今年度第1回の審議に入りたいと思います。</p> <p>新たに委員に着任いただいたお二人にはよろしくお願ひいたします。</p> <p>事業全般の進捗状況、被災跡地の利用や仮設住宅の集約撤去などの問題などの議題もありますので、委員の皆様の意見をいただきまして、審議を進めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。</p>
4 議事 (1)大船渡市復興計画事業の進捗状況について ①全般及び復興計画事業(主要事業)スケジュール	事務局	(資料確認)
	復興政策課	(資料1・資料2説明)
	佐藤(隆)委員	市道山田線道路改良が完了しているとのことだが具体的にどこからどこまでが完成しているのか。
	副市長	市道山田線は狭いと思われているところだが、全線に渡って舗装され、一応通れるようになっている。事業としては全線完了とご理解いただきたい。
	鈴木(了)委員	(資料1)10頁27番 放課後児童健全育成の事業課題について、記載されている課題は3月31日現在の資料とのことだが、2カ月が経ち何か進展はあるのか。
	生活福祉部	五葉キッズは地区公民館で行なっているが、小学校の近くで準備できるように協議しているところである。
	長坂委員	<p>(資料1)6頁 住宅再建の支援自力再建の支援策について、これは課題として補助金制度の周知徹底とあるが、自力再建の見込み等、担当課が3つに分かれているので連携しながら相談対応や周知が図られているのか。</p> <p>(資料1)18頁12番 漁業の新規就業者育成支援事業について、担い手は具体的に広田・宮古の水産高校卒業生なのか、あるいは東京都などの都市から呼ぶのか。具体的な事業の進捗状況も伺いたい。</p>
	住宅公園課	住宅再建支援は項目も多く、内容も細かいので広報に概要を掲載するとともに、支援ガイドブックを被災者に配布して周知を図っている。また地域福祉課に相談窓口を設け、そこから関係部署に繋ぐようにしており、相談に訪れた方には担当者が対応できるようにしている。広報はこれからも年2・3回掲載して周知したい。
	農林水産部	<p>新規就業者育成事業は全国で漁業者フェアを行っており、そこで担い手の確保に努めている。結果綾里地区で5人ほどの新規従業者を確保している。</p> <p>また、小学生を対象に担い手育成の補助事業を実施している。</p> <p>平成26年度に県内の全ての漁協へ地域再生営漁計画の作成が義務付けられ、この作成が整ったところであり、計画に基づいて担い手の確保等の事業を進めている状況である。</p>
	長坂委員	石巻では民間団体と連携して全国の発達障害の方に漁業の指導を行い、生活・就業支援に取り組んでいる。そういう仕組み等も大船渡に必要であれば紹介したい。大船渡にも良い担い手ができ、漁業が支えられれば良いと思う。
塩崎委員長	(資料1)6頁 住宅再建支援事業について、一つ一つに交付決定件数の実績を書いているが、予定している予算額に対して執行は進んでいるものなのか。	

住宅公園課	<p>予算は被災者全員が申請可能な予算を確保している。それに対する執行率についての手持ち資料は本日本いが、当初は建物補修事業が多かったが、現在は新築補助が増えている状況である。予算執行は 100%とはいかないが 7～8 割になるものと考えている。まだこの補助金は継続しているので不足の無いように対応したい。</p>
塩崎委員長	<p>住宅再建の支援策は岩手県の中でも大船渡は進んでいると思っている。しかし、支援策等を対象者全員に周知されているか懸念していた。本来該当する人が知らなかったというようなことが無いように、ぜひとも今後とも進めていただききたい。</p>
副市長	<p>この補助制度は個々の被災者が理解して申請に来る事は現実的でないと思っている。住宅公園課で担当しているが、生活福祉部で担当しているような生活再建の支援金などもあり、何らかの形で支援があることは被災者には周知されていると思うので、漏れの無いようにしていきたい。</p>
住宅公園課	<p>被災者の方々ご本人だけでなく、住宅の建設業者、工務店、金融機関にも支援策の周知をお願いしている。</p>
佐藤(榮)委員	<p>私も利用したが、手続きが面倒くさいと言われていないか。建物だけでなく擁壁等も生じるので、もう少し助成してもらえればと思う。</p>
住宅公園課	<p>金額については新築補助金にも県産材使用やバリアフリーなどの条件があり、上限もある。全体の工事費の中では決して多いとはいえない額ではないかと思う。国・県の補助制度であり、財源の関係上、あまり拡大はできない。</p> <p>手続き資料の省略等についてはいろいろと要望はいただいており、一度受付をしてもらえれば情報を保存している。しかし、詳細な図面など資料をいただくような場合もあるができるだけ簡略化したい。公営住宅入居等の住所変更については、住民票を改めて提出しなくても手続きができるようにする予定である。引き続き検討したい。</p>
鈴木(佑)委員	<p>(資料 1) 13 頁 44 番、48 番。被災していない児童生徒も含まれると解釈するが、児童生徒の心のサポート事業について、現在何か問題が無いのか確認したい。</p> <p>48 番の学校等への教職員の配置の事業でも、元々居る職員と加配された職員の連携に問題が無いのかお聞きしたい。</p>
教育次長	<p>心のサポート事業は、病んでいる子供達の問題が保護者・家庭の問題であるとなった場合は家庭訪問や保護者の方と話し合いを続けて解決に努めているところである。</p> <p>2 人配置で加配をしており充実している。問題があると聞いてはいない。</p>
鈴木(佑)委員	<p>3 人のスクールカウンセラーが配置され、児童、生徒、教職員及び保護者のカウンセリングが実施されている状況で、心のサポートが十分であるか疑問である。子どもの悩みは多様であり、悩みの内容と大きさや重さを十分に把握して相談を受けていると思うが、日常の家庭生活や学校・地域生活の中</p>

		での悩みを限られた時間で見逃さないで把握するのは困難であろう。子どもの話を聴く姿勢の確立により、悩みを単に問題として受け止め、解決する方向に流れる危険を防ぐことにつながるかもしれない。これからも、保護者、教職員、カウンセラーの融合による心の相談の実施を望む。
	塩崎委員長	これも踏まえて、個別の議論も踏まえて対処をお願いしたい。
	佐藤（隆）委員	越喜来小学校が廃校になるが、有名になった非常階段が捨てられようとしている。また、碁石海岸の防潮堤の工事に伴い、立派な松が切られている。仕方ない面もあるが、配慮して検討しながら工事をしてほしいと思う。
②防災集団移転 促進事業	復興政策課	(資料3 説明)
	市街地整備課	(資料3 説明)
	家田委員	工期が130日～500日とずいぶん幅がある理由は何か。
	市街地整備課	森っこ、洞川原工区の掘削量が多く、防集団地の中でも大規模になっている。掘削する土の量がかかなりの量になるためベルトコンベア等設置を行うことから、こういう工期になっている。
	塩崎委員長	戸数等の説明の39.7%とは何の数字か。
	復興政策課	整備戸数である。合計は370戸。移転戸数は表の紫色着色部を足していくと147戸で39.7%となる。
	塩崎委員長	細かい事は良いので、今後は表に完了戸数の合計を書いてもらいたい。
	長坂委員	森っこは復興庁補助額の戸当たり上限の中でできるのか。 手を上げている34戸の方々のうち、自力再建や災害公営に移った方や福祉的なケアが必要で施設に入所されることになった方々がいるかどうか確認しているか。
	市街地整備課	大臣同意を得た段階で事業費が配分されている。34戸の方々からは事前に同意書をいただいている。
	長坂委員	集団移転を希望された方との調整はどこまでするのか。今後変更があった場合、どこまで対応していくのか。
	市街地整備課	様々な場面で状況及び事情は確認している。空区画が出てどうしても調整がつかない場合は、国と協議し、公募を行う等対応していく。
	市長	私も気にしている。何軒抜けるか心配していたが、ほとんど無い。1軒か2軒かという状況。
	塩崎委員長	現時点では堅い人が残っているということではないか。
	副市長	他市では若干多めに造っているケースもあるが、当市は重々心得て、かなり堅く見通しを立て、地域と協議しながら進めている。仮に抜けた場合も別の方に入っていただくなど空気が生じないよう、細やかに対応していく予定である。
③災害公営住宅 整備事業	住宅公園課	(資料4 説明)
	塩崎委員長	空きは35戸+10戸ということか。被災地全体の公営住宅完成戸数は20%もないと思うが、よく進んでいると思う。 説明にあった数字は造る段階で聞いた需要アンケートの結果とのことだ

	が、入った方へのアンケートはしていないのか。
住宅公園課	個別には要望等があり、対応できるものは対応している。
佐々木委員	私はこの度、災害公営住宅入居の目処が立ったが、まだ住む先の目処が立っていない人はもういないとみていいのか。
住宅公園課	<p>何度かアンケートは行っている。諸事情で今後の意向がわからないという方もいる状況である。後にも触れるが応急仮設住宅支援協議会などを通じて、仮設住宅から出られない方が抱える課題を聞き、解決方策を考えたい。</p> <p>議会答弁では200件くらい不明者がいると答弁したが、その中には既に再建した方や災害公営住宅に申し込んだ方もおり、200件よりは少なくなっている。</p>
佐々木委員	防集事業に応募すれば良かったが、そこに至らなかったのも、自力で探している方がいる。後に自力再建したいので災害公営住宅に申し込んでいないという事情の方もいる。一旦入居し、そこから改めて土地を見つけて、自主再建することはできないのか。
住宅公園課	災害公営住宅は基本的には終の棲家の一つだと思う。しかし、その後、自力再建していくこともあろうかと思う。災害公営住宅の一時的入居を市から積極的に勧めることはできないが、各々の事情はあり黙認することはあり得る。
塩崎委員長	一度入居したら出てはいけないということではないが、公営住宅に応募し、自力再建の補助を申請するというような二重に支援を受けることはできないということ。
佐々木委員	<p>「仮設だと家賃無料だからいいよね」という声を聞く。仮設住宅が撤去となってから次を見つければ良いという感覚の方もいる。そういうことも含めて今後の見通しを聞き、区切りをつけた方が良いと思う。</p> <p>最終的に災害公営住宅が平成28年度にできる、ぎりぎりまで無料で住めれば良いと考えている人もいる。なかなか一度にとはいかないと思う。</p>
塩崎委員長	後段、資料7にも深く関係していると思うのでそちらでも議論する。
住宅公園課	学校敷地内の仮設住宅は平成28年度上半期の撤去を予定しているが、その時点で出られない方は、別の仮設住宅へ一旦移っていただく。各々の事情を伺いながら対応していくことになると思うので、ご理解いただきたい。
市長	市も重視している。住宅再建の見通しが無い方が200件あり、支援協議会を立ち上げ、個別に事情を聞いて回ったら80件くらいになっている。さらに精査したい。
新沼（眞）委員	<p>集合住宅型の災害公営住宅について、当初は同じ階に同じ年齢層で固まるのではなく、見守りも考慮して高齢者と若い方が同じ階に住むということが示されていた。それはきちんとされるのか。</p> <p>入居の段階で市・県で配慮しながら、入居者をお願いしながら入居してもらっているのか。</p>
住宅公園課	部屋割りは基本的に抽選で行なった。特段の考慮はない。

		災害公営住宅が建設された地域の公民館長にもお伝えして、見守りや地元になじんでいただくような努力をお願いしている。さらに団地の中に自治会を作ってもらうが、災害公営住宅は応急仮設住宅に比べて隣の音も聞こえにくくなる。災害公営住宅の見守りについての要望もあり、対応する方向で検討を進めている。
	塩崎委員長	資料では最大で147戸の災害公営住宅がある。大規模なところは懸念されているコミュニティ等の問題が起こりやすい。ぜひ取り組んでもらいたい。
	新沼(真)委員	当初、どういう住宅が望ましいか地域から要望が出ていたはず。現実にはほぼ同じ間取りで、部屋割りも抽選で決まり、要望は反映されていない。もっと柔軟に対応する方法もあったはずであり、いろいろな抽選方法もあったと思う。 今の進め方は本来あるべき姿ではないのではないかと。支援員が毎日回るだけではなく、隣人同士、生活の中で見守るのが自然な形であると考えている。
④土地区画整理事業及び津波復興拠点整備事業	市街地整備課	(資料5 説明)
	塩崎委員長	土地区画整理事業の地権者400人のうち、51人が意見書を出し、了承を得られた人が33人で了承を得られない人が18人ということか。
	市街地整備課	当初の地権者は約550人いたが、他事業でも買収を行っており、現在、地権者数は280人程度である。400人は仮換地指定済みの地権者数となっている。分かりにくいので次回には整理し直す。
	塩崎委員長	全体の権利者数に対して承諾いただいている割合とそうでない割合を知りたい。そういう資料にしてもらいたい。
	家田委員	希望の持てる事業だと思う。 (資料5-3)2頁 コンセプトが「つながる、賑わい、憩い」とある。大船渡を含め、各市町が復興拠点を造る。そこに住む人だけでは復興ができず、交流・滞留に向けてどれだけ個性を出せるかが重要になる。コンセプトにこの地域ならではの要素を入れた方が良い。これから考えれば良いことでもある。 (資料5-3)3頁 行政施設は駅から階段を上がって2階に上がる構造になっている。富山で人気のLRTは平面で動ける点が圧倒的に支持を得ている。エレベーター等があっても上下移動があると障壁になる。もし将来に渡ってもBRT運行の可能性があるなら、平面的な動線により圧倒的に魅力的なまちになる可能性がある。検討の余地があるなら考えてもらいたい。
	市街地整備課	指摘いただいたコンセプトは様々な民間団体や専門委員との討議を経る過程で同様の意見をいただき反映してきている。大きなコンセプトは同じ様に見えるが、その下に繋がるものは、この地域での事業を想定しながら積み上げている。どこにでもあるようなものと見えがちなのでそこは工夫していきたい。 平面化についても動線はさまざまな面から検討している。BRTの高さはTP5mのため、どうしても段差が出る。交通広場等にバスを寄せることも検

	<p>討している。</p> <p>引き続き、詳細設計も含めて検討していきたい。</p>
塩崎委員長	BRTの方が高いところにあるのか。
副市長	階高は同じ平面だが、敷地の盤面との間に高低差が生じている。メインはピロティの下を通る動線になっている。
塩崎委員長	今後の課題だろうが、メイン動線は平面という中、2階の諸施設にはかなり意識的な人しか行かなくなり、ふらっと寄ることは無くなる。ピロティは開けても何も無いというのも問題なので1階の配置も考えてもらいたい。
佐々木委員	トイレの中の子供のオムツを替える場所を男女共に確保してもらいたい。スタジオ等は有料になるのか、無料になるのか。教えてもらいたい。
市街地整備課	<p>観光交流施設はトイレには同様の要望をいただいております、そのように検討している。オムツ替え専用ではないが多目的に使えるように検討していきたい。</p> <p>スタジオは地元の若者が結構な頻度で使うことになると考えている。現在は有料で考えているが、具体的にはこれから検討する。</p>
塩崎委員長	専門家の委員会を経てプロの方が検討していると思うが、市民の意向を反映するワークショップ等は行っているのか。
市街地整備課	オープンな形でのワークショップではないが、ワーキンググループとして検討し、利用が想定される市民団体、高校生、子育て団体等とざっくりばらんに意見交換を行っており、様々な意見をいただいて反映している。取り入れられるものは取り入れていく。
塩崎委員長	コミュニティアーキテクトとか色々あるが、なるべく徹底して聞いたほうが良い。「取り入れられるものは取り入れる」という発想ではダメ。トイレも「そのトイレが大変素晴らしい」というものでないと今の市民の水準からは見捨てられていくと思う。
家田委員	全国で1,000の道の駅がある中、最近のトレンドは鉄道等の駅と道の駅をセットで造るもの。そこにBRTなりの拠点があるのは魅力になる。
伊藤委員	1階の観光交流施設は観光客が来るような施設なのか。アンケート結果から、碁石海岸へは4割が宮城県から車で入って来る。ある程度、観光客を見込むのであれば車利用を想定した方が良い。
長坂委員	<p>大船渡の顔として、どこでもあるようなコンサルタントが描いたような図になっており、「誰が使うのか、何を誘致するのか」という具体の姿を考えていかないと、箱物を作るだけになってしまうのではないかと。</p> <p>アーティストレジデンスの例では月20万円ほど負担すると宿泊から展示までできるなど、そういったプログラムまで想定していかないといけない。</p> <p>これで気仙の顔になるのか、高田や住田から何をしに来てもらうのか考えないといけない。地元の人々の商業・交流空間としては過大にも見え、施設としての戦略が見えない。</p>
塩崎委員長	いずれもすぐに答えを出すということではないが重要な意見である。

		<p>釜石市長が言うには三陸道ができ、三陸沿岸が一体化する時期が目の前に来ており、各々がばらばらでは仕方ないとのことだった。</p> <p>大船渡でしかないものを仕掛けていかないと、広域圏での往来が活発になる中でどうにもならなくなる。</p>
	伊藤委員	<p>釜石に世界遺産ができる。この客を北に逃がすか、南に寄せるかで大きく違ってくる。北は「あまちゃん」を含め資源がある。南側に寄せる必要があり、地域の文化や癒しを提供していかないと大船渡の交流人口は増えない。</p>
	佐藤（隆）委員	<p>先日TVドラマで伊豆と大船渡の関係で物語が描かれていて、住田から大船渡の白石トンネルを通じて話を繋げていた。ジオパークとの絡みで金山をアピールするなどストーリーを描いて、「売り」がわかるインフォメーションを施設の中に入れた方が良い。</p>
	市長	<p>貴重な意見をいただいたと思う。</p> <p>津波復興拠点は一時的な避難所という意味と公的な施設として商業色を出せない事情もあり、3年間知恵を絞ってきたものである。</p> <p>これから観光・交流をどうしようかということで観光ビジョンを作り、それを具現化していく時期になっている。それらを組み込んで最終案をブラッシュアップしていきたい。</p>
	佐々木委員	<p>バスの乗降場はぜひ観光バスの駐車場を設けてもらいたい。盛駅周辺では観光バスを停める場が無いとお叱りを受けている。大船渡駅周辺にバスを駐車できればBRT体験もできる。バスの乗務員にも情報が入ってこない。</p> <p>丘は要らないのでバス駐車場にしてほしい。何とか造ってもらいたい。</p>
	塩崎委員長	<p>観光バスの問題は関西でも大きな問題になっている。</p>
⑤被災跡地利用の検討状況	土地利用課	<p>(資料6説明)</p>
	塩崎委員長	<p>跡地利用の検討を地元の方々の参加をいただきながら検討しているという報告。今後も進めること。</p>
	市長	<p>現在約260の復興計画が位置づけられているが、跡地利用は含まれていない。</p> <p>跡地利用のプロジェクトが最後の大きな公的プロジェクトであり、住宅再建の次の山場となる。しっかりやっていきたい。</p>
	新沼（眞）委員	<p>平成28年3月までに作成すると捉えていたが、末崎地区なども10月あたりに決めてほしいということなのか。</p>
	土地利用課	<p>(資料6-2)10月の懇談会が目標だが、地域毎のペースで進めていきたい。そういう意味で目標と思っていただきたい。</p>
(2)大船渡市応急仮設住宅支援協議会の設立について	住宅公園課	<p>(現況及び資料7説明)</p>

	長坂委員	<p>仮設住宅に住む方々や支援員の方と話す、大船渡に限らず支援員は素人の方ということもあり、生活困窮などを行政に繋ぐことができていない。</p> <p>応急仮設住宅の解消を進めるために協議会を設けるのではなく、最終的に施設入居という出口があることも含め、最終的にはきめ細かく対応されるということを目指した方が良いと思う。</p> <p>災害公営住宅に移られる方も生活面で支えていく必要がある人もいるので、施策の連続性・連携を持ってもらいたい。</p> <p>見守りをコミュニティで担保できるように、ただ見てチェックするというだけの運用にならないでほしいと思う。</p>
(3)その他	中村委員	<p>復興拠点事業について、市民としてはわくわくしている。</p> <p>道路の切替工事が何度かあると思うが、仮設県道で死亡事故が起きている。仮設でも良いので夜間の歩行者の安全を図る施策をお願いしたい。</p> <p>県道丸森権現堂線は魚市場から丸森への区間の整備が進んでいないように思う。先日の五年祭の際も国道 45 号、県道丸森権現堂線の双方が渋滞していた。観光バスがすれ違えるような道路があれば良いと思う。特に魚市場を活用すれば観光バスの運用は円滑になると思う。</p>
5 その他	事務局	第 2 回を 10 月頃に予定している。日程が決まったらご案内します。
6 閉会	塩崎委員長	本日の復興推進委員会を終了いたします。皆様ご苦労様でした。